

# 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
沖縄市	南部地区 (与儀)	令和3年3月15日	令和元年12月25日

## 1. 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	17.35 ha	
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	9.83 ha	
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	1.40 ha	
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.81 ha	} 0.92 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.11 ha	
④地区内において今後中心経営体が引受ける意向のある耕作面積の合計	0.72 ha	
(備考)		

## 2. 対象地区の課題

<b>【後継者不足・担い手不足】</b>
①70歳以上の耕作者は1.40haで、そのうち後継者未定又は不明の耕作面積が65.7% (0.92ha) あり、後継者問題が顕著である。
②今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積 (0.72ha) となっており、後継者未定又は不明の耕作面積 (0.92ha) より少ない。効率的・有効的な農地利用を促進するためのマッチングを行い、新たな農地の受け手を確保する必要がある。
<b>【耕作放棄地の増加】</b>
①進入路のない農地や水がない等、営農環境が厳しい農地が多く、新規就農者を含めた担い手の確保には、生産基盤の整備が必要である。

## 3. 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<b>【農地集積について】</b>
①効率的・有効的な農地利用を促進するため、中心経営体に対して農地集積していく。
②耕作放棄地等となっている地主に対し、農地利用に関する意向及び貸付等の意向を確認し、利用権設定や農地中間管理機構を活用したマッチングを促進していく。

## 4. 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針 (※任意記載事項)

①貸付等の意向が確認された農地は34筆 (23,560㎡) となっている。農地中間管理機構の活用を含め、地主と担い手とのマッチングを行う。
---